
お手軽600字エッセイ その1

北原誠二

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お手軽600字エッセイ その1

【Nコード】

N3952C

【作者名】

北原誠二

【あらすじ】

携帯で気軽に読める600字程度の気軽なエッセイです。今日のテーマは「女性専用車」。通勤時間に比較的空いているあれです。それではお楽しみください。

暑い日が続いていますね。お疲れ様です。

さて、今日は紫外線・プラスイオン全開の通勤電車の中で、海外旅行に行くトランクを持った家族連れを見ました。

「ああ、夏休みなんだなあ」と思いますね。ただ、可愛いそうなんだ。子供が！

父親は男だから女性専用車に乗れない。母親は女だけでも家族と一緒にいたいので女性専用車にはいかない。子供は大人たちのあいだで揉みくちやにされている。

痴漢防止策で女性専用車を作ったのかもしれないが、弱者救済という趣旨なら、性別で分けるのはどうかと思います。

皆さんも経験があるでしょうが、満員電車のシルバーシートを喜んで譲る人はほとんどいない。みんな始発駅から並んで席を取って安心しているから、途中で譲る気になれないのは分かるのだけど。でも、隣の女性専用車を見ると、明らかに普通車より空いている。女性だけが弱者ではないと思うんですね。女性より弱い普段ラッシュ時に電車に乗れないようなお年寄りやシルバーがそこに乗れたらなんてすばらしいだろうと思いました。

本当に専用車必要な人たちがいることを忘れちゃいけないと思います。女性専用車のアイデア自体はともいいものだけど。女性よりも弱い人たちにも門戸を開放することは決して難しいことではない。そんなことを考えました。

鉄道会社にも考えて欲しいと思った今日この頃です。ちょっとした工夫で幸せな人が増えるなら電鉄会社さん変えてみてくださいよ。本来、混雑を解消する義務はあなたたちにあるのですから。

皆さんはどう思われますか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3952c/>

お手軽600字エッセイ その1

2010年10月9日02時37分発行